

## CASBEE-新築(簡易版)2010年版

(仮称)(株)スズキ自販京都アリーナ京都桂川(本社)新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2010

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

## スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.34			3.3
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.68	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.32	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 溫熱環境		3.2	0.35	-	-	3.2
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.39	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.24	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
5 湿度・温度制御		-	-	-	-	
6 隔離制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式	天カセ4方向吹出+エコシルフィーの採用	5.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用	2階事務所昼光率: 2.72%	3.9	0.34	-	-	
1 昼光率		5.0	0.48	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.52	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.24	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.12	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.30	3.0	-	
4 空気質環境		3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策	仕上げ材料、接着剤はシックハウス対応としF★★★★とする	4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	3.0	-	
2 アスペスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気	ショウルーム: 建築物衛生法の1.4倍以上 開口面積が居室床面積の1/10以上	3.9	0.30	-	-	
1 換気量		4.0	0.36	3.0	-	
2 自然換気性能		5.0	0.28	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.36	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理	喫煙室設置、休憩室2か所設置	4.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.3	0.40	-	-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.27	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.27	3.0	-	
3 パリアフリー計画		3.0	0.46	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理	防汚性の高い外壁塗装、床材、内壁建材の採用 SK設置あり	4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	上位3種にB以上を使用、Eは不使用	3.3	0.33	-	-	
1 鋼体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備	3.2	0.19		
	2 給排水・衛生設備	3.0	0.20		
	3 電気設備	4.2	0.20		
	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20		
	5 通信・情報設備	3.0	0.20		
3 対応性・更新性		3.4	0.29		3.4
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	4.6	0.31		
	2 空間の形状・自由さ	5.0	0.60	3.0	
3.2 荷重のゆとり		4.0	0.40	3.0	
3.3 設備の更新性		3.0	0.31	3.0	
	1 空調配管の更新性	3.0	0.38		
	2 給排水管の更新性	3.0	0.17		
	3 電気配線の更新性	3.0	0.17		
	4 通信配線の更新性	3.0	0.11		
	5 設備機器の更新性	3.0	0.11		
	6 バックアップスペース	3.0	0.22		
Q3 室外環境(敷地内)					2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30		1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性					3.3
LR1 エネルギー					
1 建物の熱負荷抑制		2.6	0.12		2.6
2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用	3.5	0.25		3.5
	2.2 自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルの採用	3.0	0.50	
	3 設備システムの高効率化	LED照明の採用	4.0	0.38	
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=16.5 <sup>b</sup>	4.0		
	集合住宅の評価				
4 効率的運用		3.0	0.25		3.0
	4.1 モニタリング	3.0	0.50		
	4.2 運用管理体制	3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル					3.2
1 水資源保護		—	0.30		
1.1 節水		2.2	0.15		2.2
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					
	1 雨水利用システム導入の有無	1.0	0.40		
	2 雜排水等利用システム導入の有無	3.0	0.60		
		3.0	0.67		
		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.63		3.3
	2.1 材料使用量の削減				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	2.0	0.07		
	2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.24		
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	4.0	0.20		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	0.05		
		4.0	0.24		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.5	0.22		3.5
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.32	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	
	1 消火剤	4.0	0.33		
	2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33		
	3 冷媒	3.0	0.33		
LR3 敷地外環境					3.3
1 地球温暖化への配慮	LOCO2=90%	—	0.30		
		3.4	0.33		3.4
2 地域環境への配慮		3.2	0.33		3.2
	2.1 大気汚染防止	ガス設備工事無し	4.0	0.25	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	
	1 雨水排水負荷低減	駐車場31台、積載車2台、縦列駐車8台、出入り口2か所	3.0	0.33	
	2 汚水処理負荷抑制		4.0	0.33	
	3 交通負荷抑制		2.0	0.33	
	4 废棄物処理負荷抑制				
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33		3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	
	1 騒音		3.0	1.00	
	2 振動		-	-	
	3 悪臭		-	-	
	3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	
	3.3 光害の抑制	チェックリスト、配慮事項の過半を満たす	4.4	0.20	
	1 屋外照明及び屋内照明のうちで隣接する先への対策		5.0	0.70	
	2 墓地の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	